改正 国民健康保険条例

傷病見舞金の額を改定するものです。

Q なぜ傷病見舞金を引き下げるのか。

A 令和4年9月、国においてオミクロン株の特性を踏まえ、療養期間を短縮する見直しが行われたことにより、感染者の事業への早期復帰が可能となったことや、国の財政支援により実施している傷病手当金においても療養期間が短くなっている傾向があるため、1週間程度の生活保障として金額を見直した結果である。

Q 傷病見舞金の支給や、未支給の状況は。

A 令和2年度は3件、令和3年度は24件、令和4年度は10月末現在で67件である。未支給の事例はない。

反対討論

今までに多くの事業主が利用し、営業や暮らしを支えてきた。条例改正で20万円から5万円に減額されることになると営業や暮らしが大変になるので条例改正に反対である。

佐久間　奈々

請願の審査結果

▼請願第9号(採択)

市内保育園、幼稚園、小中学校における適切な感染症予防対策の周知徹底を求める請願

埼玉県有志子どもの笑顔を守る会

深谷市代表　柿澤(かきざわ)　亜紀(あき)

議会のうごき

10月

	行事内容
26(水)	議員全員協議会 ・第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会提言書 ・深谷市国民健康保険税の保険税率等の改正 ・軽自動車税(種別割)の減免の継続制度の導入 ・価格高騰緊急支援給付金給付事業 ・新型コロナウイルスワクチン接種に関する報告

11月

	行事内容
17(木)	議会運営委員会 議員全員協議会 ・令和5年度組織改正に係る行政組織条例の改正 ・第2次深谷市公共施設適正配置計画(原案) ・旧藤沢分署及び旧新戒文化財倉庫(建物付の市有地)の売却 ・個人情報保護法の改正に伴う市の対応 ・指定管理者制度導入に向けた公民館事務等の引継ぎ
24(木)	議会運営委員会、議会開会、議案説明
29(火)	議案質疑

12月

	行事内容
1(木)	総務委員会
2(金)	福祉文教委員会
5(月)	産業建設委員会
8(木)	一般質問
9(金)	一般質問
12(月)	一般質問
14(水)	議会運営委員会、議会閉会 議員全員協議会 ・令和5年4月執行　統一地方選挙の日程等

12月定例会　議案に対する各議員の賛否(一部掲載)

【○：賛成、×：反対】

会派名	深谷同志会										深欅クラブ		深和会			公明党			日本共産党		無会派			審議結果
議員名 / 議案	小嶋隆	福島秀樹	今井慶一郎	富田勝	茂木一郎	田口英夫	角田義徳	清水健一	柴崎重雄	馬場茂	武井伸一	湯本哲昭	石川克正	永田勝彦	高田博之	仲田稔	三田部恒明	五間くみ子	中矢寿子	佐久間奈々	鈴木三男	村川徳浩	小林真	加藤利江	
深谷市行政組織条例の一部を改正する条例	議長(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
深谷市個人情報保護法施行条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
深谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
深谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
深谷市税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
深谷市手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
深谷市公民館条例及び深谷市生涯学習センター条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市一般会計補正予算(第6号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市ふかや花園駅前土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度 深谷市下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2次深谷市総合計画の後期基本計画の策定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市内保育園、幼稚園、小中学校における適切な感染症予防対策の周知徹底を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議長は可否同数のみ採決に参加します。

第2次深谷市総合計画後期基本計画

深谷市では平成30年度に策定した第2次深谷市総合計画の前期基本計画が令和4年度をもって終了することから、後期基本計画の策定に取り組んでいます。総合計画は、深谷市が目指すべき将来都市像を明らかにし、市民と行政が協力して、より良いまちをつくるための指針として策定するものであり、深谷市における最上位計画であることから、深谷市議会においては、総合計画を議決すべき計画の一つとして特別委員会を設置し、審査を行い、12月議会において可決しました。

左記のとおり特別委員会が開催されました

項目	日時	協議内容
第1回	9月1日	特別委員会の設置・正副委員長の選出
第2回	9月6日	総合計画(素案)の説明
第3回	10月7日	回答説明(73項目の通告)　総合計画(素案)の説明
第4回	11月7日	回答説明(42項目の通告)　パブリックコメントの結果報告
第5回	11月24日	総合計画(素案)の委員会採択
議会	12月14日	議案上程・原案可決

将来の見通し

Q 人口減少に対し出生率の向上、若年層の転入促進、転出抑制が課題とあり、子育て支援、農業支援、商工業の振興(企業誘致・留置)等、基本計画が示されているが、何を優先すべきか。

A 人口減少対策は重要な課題であり、多角的な観点から対策を講じていく必要がある。子育て支援の面では、こども館の建設や出産祝い金、保育料の無償化、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートなど、幼少期の支援を重点的に進めていく。また、産業振興の面では、雇用の確保や、まちのにぎわいを生み出すため、中小企業経営への支援や、起業しやすい環境づくり、農畜産物をテーマとした観光回遊の推進などを進めていく。いずれの取組も人口減少対策として重要であると考えており、また、これらの取組の相乗的な効果も期待できることから、並行して取り組んでいく。

「ふかや」の魅力を生かした移住定住プロジェクト

Q 移住を検討している方を対象に、生活環境や都内への距離感など移住後の生活をイメージしてもらうため、関係団体と連携して移住体験に関する取組を推進するとあるが、どのように取り組むのか。

A 関係機関と連携し、既に移住をした方を招き、移住前の考えや移住のために実施したこと、そして、移住後はどういった感想を持っているかといった実体験や、これから移住を考える方に対してのアドバイスを伺うなどの取組を検討している。

家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上

Q 家庭教育学級のプログラムはどんなものが想定されているか。

A 家庭教育学級については、①「親の学習」講座(子育て・しつけなど)、②生活上で必要な知識を学ぶ講座(人権・食育・救命救急など)、③芸術・文化講座(ものづくり・芸術鑑賞など)、④体育・レクリエーション的講座(ダンス・体操等の親子体験学習)の4つのカリキュラムを想定している。

農地の保全活用と安定した農業経営の支援

Q 農業法人の数を増やすため、どのような支援を行うのか。

A 現在、法人化支援については、主に県が国庫補助事業の活用や相談業務などにより支援を実施している。その他の国庫補助事業には、採択基準の項目に法人化が含まれており、国として法人化を推進している。今後も国や県による法人化推進の状況を注視し、市としての支援策を研究していく。

就労環境の整備

Q まちづくり指標で有効求人倍率の目標値を2027年度に1.38倍としているが、その時の景気や企業の効率化の進捗状況、国際情勢にも左右されると思うが、妥当な数字なのか。

A 有効求人倍率は、景気との連動性が強く、景気が良くなれば上昇し、景気が悪くなれば下降する。今後の景気予測が難しいため、後期基本計画の目標値に関しては、前期基本計画の目標値を継承している。